

医療関連の分析装置や半導体分野の搬送装置部品で実績

1ロット50個～100個がボリュームゾーン



コレットの共有ができるのはメリット、との評価も

スーパー G1チャック 装着のメリット

「振れ精度の安定、
ビビリ抑制、真円度向上」
「切削条件を10%上げて、
生産性が1割以上向上」

入時に、スーパーGチャップをまとめて本購入している。

高圧クリアント付き設備の使用頻度の高まりでツーリングを検討

ベルト掛け旋盤を1台設備して盛岡で機械加工業をスタートさせた小林精機。20年には企業として現在の「盛岡西リサーチパーク」に本社工場を移転し、昨年の2月には創業70周年を迎えることとなる。歩みを継続するその先に見据えるのは100年。F.A.空調、車載関連企業と言うことになりうるか。現在、産業で捉えれば、医療関連の分析装置と半導体分野の搬送装置部品それぞれで安定的な受注を獲得。ほかに食品機械やF.A.空調、車載関連などの部品加工で占めている。フライス分野を担当する畠山課長は、「多品種小ロット生産

リーンG-Iチャックをブ
ラザーの小型マシンに
グセンタに装着したこ
とを思ひ出す「そうだ
が本格的に活用する
ようになつたのは20
19年以降。受注内
容の高度化とともに関係
するが会社として、
昔も手取れなかつた。

なく、真円度向上にも
寄与した。把持したこ
時の振れ精度の良さ
が製品精度に直結し
たこともあり、削削件
は10%程度上げる
ことができ、この結果、
生産性が1割以上向
上したことから、導入へ
意を決したもの。

最初のテスト加工では
グリーンG1チャックを使用したと語る畠山課長

「面粗度ばかりか
面品位にも気遣う。
狙う公差はミクロン台」

創業70周年を経た小林精機（岩手県・滝沢市）

—ユキワ精工ツーリングユーザー訪問— フライス担当の畠山課長に聞く

が基本。1個からの受注と数千個の量産も手がけるが、1ロット50個から100個がボリュームゾーン。個数ばかりか、商品位、いわゆる見た目にも気を配る「方、日々、ミクロン台の公差を目指している」と語る。

ユキワ精工とは、古くからの円テーブルユーザーとして関わっていたと言う。

テ스트は複数のメー

タで主要な設備ととなるのがプラザ工業製造で、30台以上が現場で活躍する。

なってきたために、高圧クランク付きの設備用頻度が高まってきた。これに伴い、ツーリングのトライアルを実践していくことに成功した」と言う。

因みにマシンギングセンタは、主に大型設備となるのがプラザ工業製造で、30台以上が現場で活躍する。



**GOOD DESIGN
AWARD 2012**

特別賞 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く

ツーリングシステム グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場／〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所／東京、名古屋、大阪、中国(上海) U.S.A
<http://www.yukiwa.co.jp/>
グリーンG1チャック 検索

